

## 1. 広東省

### 1. 人事異動

- 先頃、中央政府は任学鋒・広州市党書記が広東省党副書記となることを許可。中央組織部の同意を経て、省党委員会は鄒銘・省党秘書長を省組織部長にすることを決定した（2月21日付『南方日報』）。
- 24日、第12期全人代常務委員会第26回会議で、朱小丹・元省長が第12期全人代財政経済委員会副主任委員に、黄龍雲・元省人代主任が第12期全人代華僑委員会副主任委員に任命された（2月25日付『南方日報』）。

### 2. 省党常務委員会議

- 20日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、省・部クラスの主要な指導幹部による第18期六中全会の精神を学習・貫徹するための特別講座の精神を伝達・学習し、広東省がそれを貫徹・実行するための意見について検討した。同会議では習近平・総書記が同講座を開始する際に述べた重要講話を真剣に学習し、習近平・総書記の核心としての地位を断固擁護し、全面的かつ厳格に党を治めることを揺るぎなく推進し、非常に優れた成果をもって第19回党大会を勝利のうちに開催しなければならないと強調（2月21日付『南方日報』）。

### 3. 省政府党組織特別学習会・省政府党組織拡大会議の開催

- 20日午後、馬興瑞・省長主宰の上記学習会・会議で、省・部クラスの主要な指導幹部が第18期六中全会の精神を学習・貫徹するための特別講座の精神を伝達・学習した。同会議では習近平・総書記が同講座を開始する際に述べた重要講話を真剣に学習し、省政府が系統立てて全面的かつ厳格に党を治めるための各種仕事を実行に移すことを深く推進しなければならないと強調（2月21日付『南方日報』）。

### 4. 齊統春・全国政協副主席一行が広東省を訪問

- 17日～20日、齊統春・全国政協副主席率いる視察チームが広東省を訪れ、「水污染防治法」の改訂について視察を行なった。18日午前、林木声・省政協副主席が座談会を主宰し、許瑞生・副省長が出席。訪問期間中、周天鴻・省人代副主任が同チームに随行し、揭陽市の中国・ドイツ金属エコシティを実地調査した（2月21日付『南方日報』）。

### 5. 省東西北部（西部）振興・発展業務に関する現場会議の開催

- 21日、省政府が上記会議を開催し、湛江市・茂名市・陽江市・雲浮市について現場でのマッチングを行い、この4市の発展を制限しているボトルネックを調整して解決した。馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行なった（2月22日付『南方日報』）。

### 6. 胡春華・省党書記が広東省にある中央メディア組織を視察

- 22日午後、胡春華・省党書記が広東省にある中央メディア組織を訪れ、第一線で働くリポーター・編集者を慰問し、広東省のニュース・世論工作を視察し、習近平・総書記のニュース・世論工作に関する一連の重要講話の精神を深く学習・貫徹し、第19回党大会を勝利のうちに開催するための良い雰囲気を作り出さなければならないと強調（2月23日付『南方日報』）。

### 7. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が香港、マカオの行政長官と会談

- 23日午後、胡春華・省党書記は梁振英・香港行政長官と会談し、次のように述べた。広東省と香港がそれぞれの強みを更に発揮し、実務協力を強化し、広東自貿区の建設を共に推進し、同自貿区を高水準の門戸開放のハブとして構築すると同時に、共に手を携えて国際市場を開拓すべく海外進出し、協力の水準を全面的に向上させていきたい（2月24日付『南方日報』）。
- 24日午後、胡春華・省党書記は崔世安・マカオ行政長官と会談し、次のように述べた。広東省とマカオ双方が手を携え、「一帯一路」建設を契機として経済・貿易・投資、イノベーション・起業、文化・観光等の分野における協力を深め、広東自貿区の建設を共に推進し、広東省とマカオの協力が一層広がるよう推進していきたい（2月25日付『南方日報』）。

### 8. 広東省とファーウェイが戦略的協力

- 23日午前、省政府とファーウェイが戦略的協力協定に署名し、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長、任正非・ファーウェイ総裁が署名式に出席（2月24日付『南方日報』）。

## 9. 王珣章・省政協副主席が米国の前議員訪問団と会談

●23日午前、王珣章・省政協副主席がマーク・カーク前上院議員（イリノイ州、共和党）率いる訪問団と会談。王副主席は次のように述べた。中国・米国関係の全体的に安定した発展という枠組みの下、広東省と米国の経済・貿易、地方間の友好関係、教育、観光、文化等の分野における交流・協力は豊かな成果を得ている。2016年の同省と同国の貿易総額は約1,182億米ドル（うち輸出額は約993億米ドル、輸入額は約189億米ドル）であり、経済・貿易協力の前途は開けている。カーク氏一行には、同省と同国の交流・協力を積極的に推進してもらいたい（2月24日付『南方日報』）。

## 10. 馬興瑞・省長が国務院安全生産委員会検査グループによる動員大会・フィードバック会議に出席

●21日～24日、閻京華・全国総工会副主席率いる国務院安全生産委員会第11検査グループが広東省の2016年度安全生産業務に対し、実地検査を行なった。同期間中、上記動員大会及びフィードバック会議が開催され、胡春華・省党書記の委託を受けた馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行い、根元から対策を採っていくことに力を入れ、安全な生産に対する責任を全面的に果たすよう強調（2月25日付『南方日報』）。

## 11. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が湖南省政府代表団と会談

●25日、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が許達哲・湖南省長率いる湖南省政府代表団と会談した（2月26日付『南方日報』）。

※馬・広東省長（1959年生まれ）と許・湖南省長（1956年生まれ）はいずれも、中国の宇宙関連企業総経理→工業・情報化部副部長兼国家宇宙局長兼国務院中央軍事委員会専門委員会委員→省長という人事を辿っており、大変興味深い。

## **II. 広州市**

### 1. 市党常務委員会議の開催

●21日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、省・部クラスの主要な指導幹部による第18期六中全会の精神を学習・貫徹するための特別講座の精神、省党常務委員会議の精神を伝達・学習し、それを貫徹・実行するための意見について検討。同会議では習近平・総書記が同講座を開始する際に述べた重要講話を真剣に学習し、習近平・総書記の核心としての地位を断固擁護し、全面的かつ厳格に党を治めることを揺るぎなく推進し、非常に優れた成果をもって第19回党大会を勝利のうちに開催しなければならないと強調（2月22日付『広州日報』）。

●21日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、中央・省指導者の陳情受付業務に関する指示、全国陳情局長会議の精神を伝達・学習し、市人代常務委員会、市政府、市裁判所、市検察院の党組織から業務報告を聴取し、更なる業務について検討・手配した（2月22日付『広州日報』）。

### 2. 任学鋒・市党書記が南沙区を視察

●22日、任学鋒・市党書記が南沙区の港湾エリア、イミグレーション・サービスセンター、広州・中国科学院コンピューター・ネットワーク情報センター、広船公司、广汽トヨタを視察し、開発・建設状況について理解を深め、次の業務を手配（2月23日付『広州日報』）。

### 3. 温国輝・市長が民営企業家の代表と懇談

●23日午前、温国輝・市長が広州市の民営企業家の代表と懇談し、意見・提案を聴取し、实体经济を發展させていく上での問題について一緒に検討した（2月24日付『広州日報』）。

### 4. 観光関連

●25日、2017年広州国際観光展が閉幕した。市観光局によれば、今次同観光展はブースを設けた国内外の観光業者から、1993年に始まって以来最も高い評価を受け、4つの展示館に世界51の国と地域から980社の旅行会社及び観光関連企業が出展した。来訪者数は3日間で、のべ14万人（前回比15.2%増）だった（2月26日付『広州日報』）。

●広州発バンクーバー経由のメキシコ便（南方航空）が週3便（月曜、木曜、土曜）、4月10日に就航。価格はロサンゼルス経由よりも25%安くなっている（2月26日付『広州日報』）。

### Ⅲ. 深圳市

#### 1. 市党常務委員会議の開催

● 21日午前、許勤・市党書記兼市長主宰の上記会議で、省・部クラスの主要な指導幹部による第18期六中全会の精神を学習・貫徹するための特別講座の精神、習近平・総書記が同グループによる検討を開始する際に述べた重要講話に関する胡春華・省党書記の要求を伝達・学習。同会議では、特区の党員幹部として、中央・省の要求に基づき、習近平・総書記の上記重要講話の精神を深く学び徹底し、思想と行動を党中央の全面的かつ厳格に党を治めるという政策決定・手配に一致させ、主張をはっきりさせ、政治面を重視し、厳粛かつ真剣に実行し、揺るぎない自覚をもって習近平同志を核心とする党中央との高度な一致を保ち、全面的かつ厳格に党を治めることを不断に深く発展させていかなければならないと強調（2月22日付『深圳特区報』）。

#### 2. 2017年全国政策諮問会議の開催

● 23日午前、国務院発展研究センター主宰の上記会議が深圳市で開幕し、各省・自治区・直轄市、計画単列市、省都都市発展研究センター、政策研究室等の機関から200人余りの指導者・専門家が集まり、現在、中国経済・社会発展、改革の全面深化が直面している新たな情勢・任務・問題について分析・検討・評価し、国のハイレベルなシンクタンクを作り、発展させる仕事を推進した。李偉・国務院発展研究センター主任、王安順・同センター党組織書記、許勤・市党書記兼市長等が出席。同会議期間中、同センターの指導者一行は広東自貿区前海・蛇口エリア、関連企業のイノベーション発展状況も視察（2月24日付『深圳特区報』）。

#### 3. 許勤・市党書記兼市長が梁振英・香港行政長官一行と会談

● 23日、上記会談で梁振英・行政長官は次のように述べた。香港と深圳によるイノベーション・科学技術パーク計画を実行し、両地域が製造業、金融業等、既に協力している範囲に新たな内容を加えるべく、科学技術・イノベーション分野において、香港に「一国」のメリットと「二制度」の便宜という強みを発揮させ、国が香港に求める要求を満たしていく。両地域の協力分野がますます広がり、内容もますます豊かになり、その成果がますますよくなっていくよう期待している（2月24日付『深圳特区報』）。

● 23日午後、深圳・香港医療改革のパイオニアとなる香港大学附属深圳病院の開院5周年記念式典が開催され、梁振英・香港行政長官、廖京山・省香港・マカオ弁公室主任、吳以環・副市長等が出席（2月24日付『深圳特区報』）。

#### 4. ASEAN10+3生産能力にかかる協力に関する国際シンポジウムの開催

● 25日、広東自貿区前海・蛇口エリアで上記シンポジウムが開催された。ASEAN10か国と日中韓3か国の専門家が集まり、「生産能力にかかる協力を推進し、共同発展を実現しよう」というテーマで、生産能力にかかる国際協力と「一帯一路」を緊密に関係づけることについて検討した（2月26日付『深圳特区報』）。